

## 附属病院部/集中治療部

## 1. 領域構成教職員・在職期間

部長(併)	重見研司	平成18年4月ー
講師	齊藤律子	平成27年11月ー
助教	北村倫子	平成27年11月ー
助教	坂口友里江	平成26年4月ー
特命助教	佐上祐介	平成26年4月ー
特命助教	松田修子	平成30年5月ー
特命助教	木村幸平	平成31年4月ー

## 2. 研究概要

## 研究概要

## ●重症患者における各種栄養剤の有用性の検討

急性期の重症患者に対する栄養管理が予後に大きな影響を与えることは周知の事実となってきた。疾患の多様性、年齢、併存疾患等の患者背景因子、さらに治療による影響などを考慮して栄養管理を行う必要がある。高血糖あるいは血糖値の変動が患者予後に大きく影響することが報告されている。各種栄養剤投与における、血糖値、血糖値の変動、インスリンの必要度、胃内残留時間、逆流や嘔吐、下痢などの副作用、ICUの滞在期間、経口摂取が可能となる期間等、多面的分析を行い、栄養成分の違いによる、有用性・安全性を検討していく予定である。

## ●人工呼吸器関連肺炎の新しい抗菌薬TR-701FAの安全性および有用性の検証

人工呼吸器関連肺炎は病院内で人工呼吸器を装着したことによって新たに罹患した肺炎であり、ICU入室患者の3から4%を占め、ICU内の院内感染で最も多く、致死率も50%前後と非常に高い疾患である。治療としては抗菌薬の投与となるが、その抗菌薬に対しては、静菌的ではなく、殺菌性を有し、感受性が高く、耐性選択能の高いことが要求される。当院では、前述の特徴を有した新しい抗菌薬TR-701FAの治験を開始しており、その安全性および有効性を検証していく予定である。

## ●冬眠の低体温療法への応用をめざして

Hibernation protein complex (HP complex) に注目し、HP complex をラットの脳室内に投与することにより冬眠が実現できるか、その時のバイタルサインやその他の生体機能がどうなっているか、投与終了後は合併症なく覚醒するかどうかを調べる。

この研究から、低体温療法に冬眠のメカニズムを取り入れ、より効果的で安全な低体温療法を開発することを目的とする。

## キーワード

栄養管理, 血糖コントロール, インスリン, 人工呼吸器関連肺炎, TR-701FA, 冬眠, 低体温療法, HP complex, 脳保護作用

## 業績年の進捗状況

## 特色等

## ●重症患者における各種栄養剤の有用性の検討

集中治療患者に対する各種栄養剤の選択に関して、疾患別あるいは併存合併症から、インスリン必要度、血糖値の推移の観点から調べたものはなく、重症患者の栄養に関して一石を投じる可能性がある。

## 本学の理念との関係

## ●重症患者における各種栄養剤の有用性の検討

集中治療患者と栄養について、その本質から考え直すきっかけにしたい。

## ●人工呼吸器関連肺炎の新しい抗菌薬TR-701FAの安全性および有用性の検証

人工呼吸器関連肺炎による死亡率はまだまだ高く、その救命率を上昇させるきっかけとしたい。

## ●冬眠の低体温療法への応用をめざして

脳低体温療法で神経学的予後や生命予後が飛躍的に改善したり、心筋虚血やその他の臓器障害において、そのダメージを最小限にして救命率を上昇させたりということにも応用可能であると考え。高い倫理観のもと、医学発展に大きく貢献できると考えている。

## 3. 研究実績

区分	総数		インパクトファクター (うち原著のみ)	
	2019年分		2019年分	
和文原著論文	0		—	
英文論文	ファーストオナー	0	0 (0)	
	コレクトンディングオナー	0	0 (0)	
	その他	0	0 (0)	
	合計	0	0 (0)	

## (A) 著書・論文等

## (1) 英文：著書等

## a. 著書

## b. 著書 (分担執筆)

## c. 編集・編集・監修

## (2) 英文：論文等

## a. 原著論文 (審査有)

## b. 原著論文 (審査無)

## c. 原著論文 (総説)

## d. その他研究等実績 (報告書を含む)

## e. 国際会議論文

## (3) 和文：著書等

## a. 著書

## b. 著書 (分担執筆)

## c. 編集・編集・監修

## (4) 和文：論文等

## a. 原著論文 (審査有)

## b. 原著論文 (審査無)

## c. 総説

## d. その他研究等実績 (報告書を含む)

## e. 国際会議論文

## (B) 学会発表等

## (1) 国際学会

- a. 招待・特別講演等
- b. シンポジスト・パネリスト等
- c. 一般講演 (口演)
- d. 一般講演 (ポスター)
- e. 一般講演
- f. その他

## (2) 国内学会 (全国レベル)

- a. 招待・特別講演等
- b. シンポジスト・パネリスト等

## c. 一般講演 (口演)

- 1956001** 佐上祐介, 白石貴大, 田中克弥, 木村幸平, 松田修子, 神澤聖一, 竹内健二, 重見研司: 覚醒下脳動脈瘤クリッピング手術の麻酔経験, 日本臨床麻酔学会第39回大会, 20191107
- 1956002** 松木 悠佳, 長田 理, 萩野 芳弘, 松田 修子, 中西 侑子, 重見 研司: ロクロニウムで外科的筋弛緩状況でのスガマデクスによる拮抗必要量の検討, 第26回日本静脈麻酔学会, 東京都, 20191123
- 1956003** Kayembe DK, Isada T, Shiraiishi T, Sakaguchi Y, Hayabuchi M, Tsugita K, Tabata M, Morello R, Shigemi K: RELIABILITY OF VENTRICULAR AORTIC COUPLING USING A VASCULAR SCREENING SYTSEM, 日本臨床麻酔学会第39回大会, 軽井沢町, 20191108
- 1956004** 松木 悠佳, 長田 理, 萩野 芳弘, 中西 侑子, 松田 修子, 重見 研司: 長時間の肝臓切除症例において筋弛緩拮抗にスガマデクスを予想以上に必要とした1例, 日本臨床麻酔学会第39回大会, 軽井沢町, 20191107
- 1956005** 松木 悠佳, 助永 憲比古, 菅島 裕美, 松田 修子, 竹内 健二, 重見 研司, 高雄 由美子, 前田 倫, 廣瀬 宗孝: 慢性疼痛患者における痛み評価項目の関連性の検討, 日本ペインクリニック学会第53回大会, 熊本市, 20190719
- 1956006** 鈴木 裕紀子, 坂口 友里江, 次田 佳代, Kayembe DK, 早瀬 光代, 田畑 麻里, 松木 悠佳, 木村 幸平, 上村 和紀, 杉町 勝, 谷合 由章, 松岡 達, 重見 研司: 全身麻酔中に左室収縮の効率(Eff)をモニタする試み, 第40回日本循環制御医学会 総会・学術集会, 軽井沢町, 20190608
- 1956007** 坂口 友里江, 早瀬 光代, 次田 佳代, 田畑 麻里, Kayembe DK, 齊藤 律子, 北村 倫子, 佐藤 倫祥, 佐上 祐介, 神澤 聖一, 谷合 由章, 松岡 達, 重見 研司: 左室大動脈カプリングの連続モニタリングによる循環動態の鑑別, 第40回日本循環制御医学会 総会・学術集会, 軽井沢町, 20190608
- 1956008** 次田 佳代, 松木 悠佳, 坂口 友里江, 早瀬 光代, 田畑 麻里, Kayembe DK, 関 久美子, 中西 侑子, 松田 修子, 伊佐田 哲朗, 谷合 由章, 松岡 達, 重見 研司: 動脈圧波形下脚部を指数関数で近似して平均体循環充満圧を推定する方法の開発, 第40回日本循環制御医学会 総会・学術集会, 軽井沢町, 20190608
- 1956009** 重見 博子, Kayembe DK, 坂口 友里江, 木戸口 周平, 早瀬 光代, 早瀬 由朗, 次田 佳代, 鈴木 裕紀子, 木村 幸平, 井村 敏雄, 岡藤 和博, 石塚 全, 重見 研司: 血管脈波検査装置による左室動脈結合状態(Ees/Ea)の算定における測定値のバラツキ, 第40回日本循環制御医学会 総会・学術集会, 軽井沢町, 20190607

## d. 一般講演 (ポスター)

- 1956010** 白石 貴大, 坂口 友里江, 鈴木 裕紀子, 奥野 絢子, 早瀬 光代, 谷合 由章, 松岡 達, 重見 研司: Ese/Ea算定によるエフェドリンの心収縮能、心後負荷、心前負荷に対する影響の解析, 日本臨床麻酔学会第39回大会, 軽井沢町, 20191108
- 1956011** 木村 幸平, 佐藤 倫祥, 白石 貴大, 松田 修子, 佐上 祐介, 次田 佳代, 田畑 麻里, 重見 研司: Eisenmenger症候群を合併している5p-症候群の患者において、マスク換気による麻酔管理を行った1例, 日本臨床麻酔学会第39回大会, 軽井沢町, 20191108
- 1956012** 鈴木 裕紀子, 坂口 友里江, 奥野 絢子, 次田 佳代, 早瀬 光代, 田畑 麻里, 重見 研司: 左室駆出率(EF)と左室収縮効率(Eff)の関係の検討, 日本臨床麻酔学会第39回大会, 軽井沢町, 20191108
- 1956013** 坂口 友里江, 早瀬 光代, Kayembe DK, 次田 佳代, 田畑 麻里, 谷合 由章, 松岡 達, 重見 研司: 術中出血に伴う左室大動脈カプリングの変化, 日本臨床麻酔学会第39回大会, 軽井沢町, 20191108
- 1956014** 奥野 絢子, 次田 佳代, 坂口 友里江, 鈴木 裕紀子, 田畑 麻里, 竹内 健二, 重見 研司: 全身麻酔中に動脈圧波形下脚部から平均循環充満圧(Psf)をモニタする試み, 日本臨床麻酔学会第39回大会, 軽井沢町, 20191108
- 1956015** 竹内 健二, 松田 修子, 松木 悠佳, 小原 洋昭, 重見 研司: 漢方の腹診所見が処方選択の決め手となった頸部痛の2症例, 日本ペインクリニック学会第53回大会, 熊本市, 20190719
- 1956016** 松田 修子, 松木 悠佳, 奥野 絢子, 齊藤 律子, 重見 研司: 腹腔鏡下腎摘出術における肺リクルートメントと手技の有用性, 日本麻酔科学会第66回学術集会, 20190531

## e. 一般講演

## f. その他

## (3) 国内学会 (地方レベル)

- a. 招待・特別講演等
- b. シンポジスト・パネリスト等

## c. 一般講演 (口演)

- 1956017** 北村 倫子, 伊佐田 哲朗, 白石 貴大, 田畑 麻里, 次田 佳代, 松木 悠佳, 齊藤 律子, 重見 研司: 当院における集中治療部の現状と長期在室因子の検討, 日本集中治療医学会 第3回東海北陸支部学術集会, 浜松市, 20190713
- 1956018** 野々山 忠芳, 栗原 勇治, 羽根田 慎吾, 齊藤 律子: 当院ICUにおける理学療法士専従配置と早期リハビリテーション, 日本集中治療医学会 第3回東海北陸支部学術集会, 浜松市, 20190713

## d. 一般講演 (ポスター)

- 1956019** 白石 貴大, 次田 佳代, 木村 幸平, 中西 侑子, 齊藤 律子, 重見 研司: 先天性無痛無汗症患者における脊椎後方固定術の全身麻酔の一例, 日本麻酔科学会東海・北陸支部17回学術集会, 名古屋市, 20190907
- 1956020** 西川 緑, 齊藤 律子, 木村 幸平, 中西 侑子, 佐上 祐介, 坂口 友里江, 重見 研司: 敗血症性ショックの初期治療中にアナフィラシキ-様反を来した一症例, 日本集中治療医学会 第3回東海北陸支部学術集会, 浜松市, 20190713
- 1956021** 松田 修子, 坂口 友里江, 田中 克弥, 佐上 祐介, 齊藤 律子, 藤林 哲男, 重見 研司: 抜管後の異常行動で鎮静薬の離脱症候群が疑われた小児の一例, 日本集中治療医学会 第3回東海北陸支部学術集会, 浜松市, 20190713

## e. 一般講演

## f. その他

## (4) その他の研究会・集会

- a. 招待・特別講演等
- b. シンポジスト・パネリスト等
- c. 一般講演（口演）  
1956022 齊藤律子：安全に酸素療法を行うために、研修医向けコアレクチャー，永平寺町，20190419
- d. 一般講演（ポスター）
- e. 一般講演
- f. その他

## (C) 特許等

区分	内容（発明の名称）	発明者又は考案者
----	-----------	----------

## (D) その他業績

## 4. グラント取得

## (A) 科研費・研究助成金等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	期間（年度）	金額（配分額）
区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	期間（年度）	金額（配分額）
文部科学省科学研究費補助金	若手研究	左室大動脈カプリングの連続測定による循環動態の鑑別とその有用性の検討	坂口 友里江		2019	1430000

## (B) 奨学寄附金

受入件数	受入金額
------	------

## 5. その他の研究関連活動

## (A) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
----	---------	-----	-----	-----

## (B) 学会の要職

学会の名称	役職	氏名
-------	----	----

## (C) 座長

国内学会	学会名	氏名
------	-----	----

## (D) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	委員長（主査）・委員	氏名
----------	------------	----

## (E) その他